

# 議案に対する討論

## 討論を行った議案

### 第28号から第36号までの 令和6年度予算

予算審議特別委員会で審査した令和6年度予算の内容について、定例会最終日に討論を行いました。

討論の主な内容を掲載します。

## 反対 日本共産党



飯塚 正 議員

一般会計では、総務費において自衛官募集事務を行っている点、マイナンバーカードの交付推進を図っている点、会計年度任用職員の待遇改善をしていない点、民生費において敬老会開催事業・ミニデイホーム事業・井頭温泉招待事業の対象年齢を70歳に戻していない点、衛生費において新型コロナウイルス感染症対策として、令和6年3月末をもって、ワクチン接種や医療機関、薬剤など国からの助成がなくなるが、市として、独自に負担軽減を施策として図っていない点、商工費において工業振興対策として企業誘致の促進を図るための補助金事業を行っている点、土木費において農村部における生活道路整備や準用河川や用水路整備・管理の遅れに対して予算が不足している点、東郷市営住宅における安全対策が遅れている点、教育費において奨学金を返済しない給付型制度にしていない点、小中学校の給食費の無償化をしていない点が反対の理由である。

特別会計では、国民健康保険特別会計において高い保険税となっている点が反対の理由である。

このような理由で  
令和6年度予算に  
反対・賛成しました

## 賛成 もおか令和会



大瀧 和弘 議員

現在、オンリーワン事業として真岡市独自に実施している、0歳児から2歳児を対象とした第2子保育料の一部無償化に関して、0歳児から2歳児のすべての第2子に拡大して、保育料無償化を実施することが盛り込まれており、さらなる子育て環境の充実に対して、高く評価する。

また、「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」機能が相互に連携する複合交流拠点の整備や「いがしらリゾート」の中心的施設である井頭温泉およびチャットパレスのリニューアル工事、アグリゾーンにおける農作物収穫体験圃場の拡張など、様々な施策の展開により、若い世代を含めたすべての人が「真岡に住みたい、働きたい、子育てしたい」と希望を持ち、楽しさを実感できるまちの実現に向けた取り組みが十分に感じ取れる予算であると高く評価する。

事業執行に当たっては、事業の必要性、優先性、緊急性などに留意しながら、最小の経費で最大の効果をあげるべく、市長を先頭に、全職員一丸となって、スピード感をもって推進されるよう、期待するとともに、議員各位のご理解ご賛同をお願いして賛成討論とする。